



さくら



「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」～チームみなみ～

Version up ! ~Ver.3.0~

三並小学校学校通信第9号

令和3年11月18日発行

校長 井手 富孝

暦も進み、段々と寒さを感じるようになってきました。三並小伝統の駅伝大会への取り組みも始まり、明日からは6年生が長崎市に修学旅行に行く予定です。感染症の患者数は少ない状態が続いていますが、感染症対策とともに、寒さ対策も行い、体調を崩したり、ケガをしたりすることのないようにしていきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。



PTA総会で学級委員会と広報委員会を合併することを決定しました。現在、本部役員会・実行理事会や各委員会で活動内容の検討が行われています。この件につきまして、ご質問、ご意見等あれば、学校まで連絡ください。

◇ 4年総合「いのちを見つめてⅡ」～支え合ういのち～ ◇



「支え合うってなんだろう」というテーマのもと、社会福祉協議会の方々と連携して取り組んでいます。前回までに、赤い羽根共同募金のお話や車いす体験を行いました。

今回は、視覚に障がいのある方のことをもっと知ろうということをめあてに、専用のゴーグルを使って「疑似体験」を行いました。子どもたちは見え方を体験することにより、その「困り感」を切実に感じていました。

その後「みんなにやさしいまちづくり」をテーマにコスモスプラザ等を見学し、前の学習を生かして、だれもが生活しやすいまちについて考え、発表していく予定です。

その学習の中でタブレットを使ってプログラミング学習を行い、みんなにやさしい信号機をつくっていきます。押しボタン式の音の出る信号機をプログラムしていきますが、今までの学習を生かして点灯時間や音の出る時間の長さ等の工夫をさせます。



◇ 教育委員会で「学校選択制」が検討されています。◇

趣旨（説明資料から）

三並小学校は、全校児童71名の小規模校である。同校の特徴としては、個に応じた教育活動、豊かな自然環境を生かした特色ある体験活動、異学年との交流活動などが挙げられ、知・徳・体をバランスよく育むことができる、恵まれた環境が整っている学校である。

そこで、小規模校としての三並小学校のよさを町として最大限活用するべく、三並小学校を「特認校」に指定し、通学区域に関係なく、筑前町のどこからでも就学を認めようとするものである。

以上のような趣旨のもと、例えば、新1年生としての就学時のみ認め、原則6年間は通学する等、様々な留意点を協議し、令和5年度からの実施を目指して検討されています。

現在、職員会議や学校運営協議会において、教育委員会からの説明を受けて協議を終えたところです。今後は、教育委員会から保護者のみなさまへの説明（12月11日）が行われる予定です。

今後の三並小学校の教育活動に大きく関わってきます。保護者説明会での率直なご意見をいただきたいと思いますので、参加の程、よろしくお願いいたします。